

2 介護予防に効果的なサービス、楽しみややりがいを感じられるサービスはどんなものか。

1 サービス提供のあり方について

(1) きめ細かな対応の必要性

利用者一人ひとりの訴え、ニーズ、生活様式を把握し、個人ごとにメニューを作成するとともに、実施後は目標達成度を評価するなど、個別対応する。

- ・そのためのスタッフ、キーパーソンを養成する。人員体制を厚くする。
- ・ケアマネの情報を伝達する。
- 身体状況に近い者同士など少人数グループで実施すること。

(2) 自主性の尊重

行事の実施に当たり、利用者が企画段階から自主的に参画・参加し、自分の役割や当番を受け持ちながら助け合う。

- ・行事までの体力づくり、服・持ち物選びは自分で計画する。
- 高齢者が自主的に店を運営する。(喫茶、作品販売など)
- 社協のサロン活動やシルバー人材センターに登録する。

(3) サービス提供の多様化

サービスの企画段階から有志のボランティア等を活用し、又は養成する。

- ・元気高齢者のボランティアにより、1対1で話をする。
- ・地域住民との交流を図り、地域に密着する。
- ・外部講師の活用。指導者の雇用。
- ・子どものボランティアの活用。
- 世代間交流(子どもとの交流)を図り、利用者の趣味や特技(昔の遊び)を教える。
- OT、PTが参画し、メニューを作成する。
- ・作成したメニューにより自主トレーニングをし、自宅でも実施する。
- 小さな地域単位でデイサービスを実施する。
- ・自治会単位。
- ・公民館を活用したサテライト型のサービス提供。
- ・小学校体育館を使用した運動会。

(4) 仲間づくりが重要

2 サービス内容について

(1) ものづくり、作業

ものづくりを行い、一般市民向けに展示する。

- ・収入が得られる作業
- 料理教室、お菓子づくり
- ・食生活改善推進委員の活用
- 長期的な創作活動

(2) 趣味

クラブ活動、クラブ発表会、趣味活動

- ・多様な趣味教室の開催
- ・自分の趣味、特技を掘り下げた学習会の開催
- ・個別メニューに趣味、専門性を取り入れる。
- 利用者が特技を伝達する。

(3) 家庭生活と直結したサービス

家庭生活をしていくために必要な作業の訓練メニューの実施(料理、洗濯、掃除、買い物、テーブル拭き、布団干し)

- ・OTを活用。
- ・家庭で失った役割を担う。

(4) 外出

- ・野外食事会、買い物、散歩、ウォーケラリー
- ・身体状況ごとにグループ分けをする。

(5) 体操

- ・音楽療法を併用。ソーラン節、リズムに合わせる。
- ・社交ダンス、ヨガ
- ・グループ体操

(6) 各種療法

園芸等農作業

- ・指導する職員が必要。

学習療法

- ・音読、計算、クイズ
- 回想法、回顧療法
- ・ビデオ、カラオケ
- ・昔の遊び（遊びリテーション）
- 音楽療法
- ・専門家の指導
- 緩和ケア、マッサージ
- 化粧療法

(7) サービス内容を情報公開

3 その他

家族による介護参観、家族同席の発表会

送迎サービス

健康の知識提供

情報交換の場の提供

家でも生かせるもの

難聴、視力低下高齢者対策